



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
9月17日
発行

第54回

「2極化相場に変化の兆し」

～コロナ関連株から景気敏感株へ～

初めに

新型コロナウイルスの登場以来、日本の株式市場では2極化が続いて来ました。新型コロナにより恩恵を受ける企業とそうでない企業の2極化です。しかし最近はこの2極化相場に変化が現れて来ています。今回はこの2極化相場の変化について考えます。

2極化相場の勝ち組と負け組

世界的には2極化相場の勝ち組は米国のGAFAを初めとする大手ネット企業でしょうが、そうした企業が少ない日本では、衛生用品関連、テレワーク関連、ゲーム関連などが、勝ち組と言えそうです。逆にコロナ対策としての、外出規制の影響が大きかった移動、旅行、外食などは負け組となるかもしれません。しかし状況は変わりつつあります。

景気敏感株の上昇

最近目に付くのが景気敏感株の上昇です。9月11日の日本経済新聞は『海運株に資金流入』と題する記事を掲載しました。生産が回復する自動車用の荷積みが増えていることなどから海運株に資金が流入しているとの内容です。鉄道株も好調です。JR3社の株価はいずれも戻り基調を続けています。先程お話ししたように、輸送関連は最も新型コロナの打撃が大きかった分野の1つですが、そうした企業の株価が上昇に転じている。これが2極化相場が変化していると、考える理由です。

景気回復期待が変化の理由

こうした2極化相場の変化の理由としてまず挙げられるのが、景気回復への期待感です。米経済の先行指標と見做されているISM製造業景況指数は7月の54.2から8月の56.0に大きく上昇。また日本の7月機械受注（船舶、電力、除く）は6.3%増と5か月振りに前月比で増加しました。こうした日米の経済指標の改善と、それに伴う景気回復期待が最近の2極化相場変化の理由と考えています。Go Toキャンペーンの対象拡大やGo To Eatの開始など政策効果もあり、こうした傾向はしばらく続くと考えています。

大手ネット株からの資金シフト

もう1つ、2極化相場の変化の理由として挙げられるのがGAFAなど大手ネット株からの資金流入です。こうした企業は2極化相場の勝ち組でしたが、割高感や当レポートでも指摘したソフトバンクグループを巡る問題などから、頭が重い展開となっており、資金が流出しつつあることがうかがわれます。これが2極化相場の変化のもう1つの理由と考えています。このまま大手ネット株などが低迷し続けることはないでしょうが、これまで勝ち組と負け組の差が大きかっただけに、しばらくは景気敏感株優位が続くと予想しています。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。